



麦穂

東 村 山 第 一 中 学 校

令和6年度5月号

学校だより

発 行 者 校 長 坂 下 惣 栄

挨拶は、挨拶をする人、それを受け挨拶を返す人、どちらにとってもいいものだと思います。一中生の挨拶は、私を爽やかな気分にしてくれ、気持ちが沈んでいるとき、疲れているとき、私を元気づけてくれるものです。そして、それは私だけでなく、私以外の先生方、また、来校するすべての人が、皆さんの挨拶に爽やかさを感じたり、元気づけられたりしています。もちろん生徒同士の挨拶もそうだと思います。4月の行われたあいさつ運動でもそうでしたね。皆さんのあいさつは、大変気持ちよく、爽やかでした。

挨拶は、より良い人間関係を築く大切な道具だと思います。また、挨拶で、相手の状態を感じることもできます。たとえば、挨拶した相手から挨拶が返ってこない、あるいは声が小さかったりすると、「あれ？ 何かあったのかな、体の調子でも悪いのかな」と感じます。また、初対面の人から明るく「こんにちは」と声をかけられれば、その人に対して好印象を抱きますし、逆に、こちらが挨拶をしても何も返ってこなかったら、正直あまりいい感じはしません。いずれにせよ、挨拶は、人と人との様々な関係が作られていくきっかけとなっているわけです。

相手との距離が近くなり、お互い話しかけやすい雰囲気生まれます。「顔を見て、挨拶する」、この行動だけで、相手からの印象は良くなり、関係も円滑になっていくことでしょう。

皆さんには、挨拶を通してより良い人間関係を作ることのできる人になってほしいと思います。

「挨拶」という言葉の語源についても少し話そうと思っていましたが、時間がありません。「一挨拶」（いちあい いっさつ）という言葉があります。仏教における禅の修行で用いられてきた言葉ですが、これが挨拶という言葉のもののようです。興味のある人は調べてみてください。

最後に、挨拶について私の心に残っている言葉を紹介します。

「あいさつは 友達作る魔法のことば」

「あいさつは 心のとびらをひらく 第一歩」

※東村山市市制 60 周年記念事業のお知らせ 裏面をご覧ください。

令和6年4月1日で東村山市は市制 60 周年となりました。この1年間、キャッチコピーを「ココロつなぐ トモにつくる 未来 キラリ 東村山 ～おかげさまで 60 周年～」として、様々な行事が行われます。近隣や中学生を対象とした行事に参加してみませんか。

10 年後の 70 周年の時、中学生の皆さんは社会人です。そして 100 周年ではまちづくりの中心となる世代です。中学生の今だからこそ思いつくアイデアは、ふるさと東村山のまちの賑わいや活力を生み出すことに役に立つかもしれません。

【記念行事の例】

- ・ 60 周年記念式典 令和 6 年 5 月 26 日（日）
- ・ グリーンバスラッピング事業 令和 6 年 5 月 13 日（月）締切
- ・（仮称）未来のまちづくりシンポジウム 令和 6 年 9 月 7 日（土）



詳細は東村山市ホームページ「市制施行 60 周年記念事業」で御確認ください。